Round One(ABC148-A) 解說

ococo(AtCoder:ococonomy1)

問題概要

1,2,3 のどれかが答えになる三択クイズがある

AとBは誤答であるという情報が与えられる

正解を出力せよ

制約:1 ≤ A,B ≤ 3, A ≠ B

解法1:条件分岐

1,2,3のうち A でも B でもないものを出力したい

if 文を使って答えが 1,2,3 になるパターンを 3 つ書く 初めに A と B の大小を統一しておくと実装のミスが減りやすい

解法1:条件分岐

実装例

```
1 a = int(input())
 2 b = int(input())
 3 → if a > b:
    temp = a
 5 a = b
6 b = temp
 7 + if a == 1 and b == 2:
   print(3)
 9 - if a == 1 and b == 3:
      print(2)
10
11 - if a == 2 and b == 3:
      print(1)
12
```

解法2:和に着目

全ての選択肢の和が必ず6になることに着目する

(正解の選択肢) + A + B = 6

: (正解の選択肢) = 6 - A - B

解法2:和に着目

実装例

```
1  a = int(input())
2  b = int(input())
3  print(6 - a - b)
```

解法3:bit演算

2進数での繰り上がりのない足し算をする XOR という演算がある

XOR について、以下の性質が成り立つことが知られている (他にも様々な性質があるがここでは割愛)

 $(X \oplus Y) \oplus Z = X \oplus (Y \oplus Z)$ (結合法則)

 $(X \oplus Y) = 0 \Leftrightarrow X = Y$

解法3:bit演算

(正解の選択肢) ⊕ A ⊕ B = 0

- ∴ (正解の選択肢) ⊕ (A ⊕ B) = 0
- ∴ (正解の選択肢) = A ⊕ B

解法3:bit演算

実装例

```
1 a = int(input())
2 b = int(input())
3 print(a ^ b)
```